

ランナー234人発表

東京五輪、パラリンピック大会組織委員会は24日、県内7月6、8日に実施される聖火リレーランナー走行区間発表を公表し、1日目は藤市から所沢市の7区間、2日目は加市から飛市の9区間、3日目は川越市から上尾市の6区間を計34人が駆け抜け。

来月6日 蕨市スタート

県が22日、新型コロナウイルス「等重措置」の対象区域と「ルス対策の一まん延防止」なっている、さいたま市と

Tokyo 2020+

7月6日(火)

蕨市・戸田市



10:23~10:47

笹渕敏子48(蕨市)▽植木涼太13(蓮田市)▽小山真40(東京都北区)▽山田晶52(戸田市)▽中山雅文42(東京都杉並区)▽関根正昌62(蓮田市)▽小川将52(東京都中央区)▽浜田美咲38(戸田市)

川口市での公道走行を取りやめる方針を決めたため、公道リレーの初日は創業150年以上の照餅店付近か

らスタートする。戸田市のドモニコッポ戸田公園団地駐車場で女隊の浜辺美波さん20が参加。日高市周辺では、約1000年前に朝鮮半島からの渡来人が移り、「高麗郡」が設置されたとされる。同市の高麗神社から豊珠砂防公園内広場まで、一部のコースを渡来人の騎射文化にちなんで「乗馬」で聖火をつなぐ。

2日目は、国指定聖火おくまの道の聖地、草加松原の遊歩道を駆け抜け、長瀬町では国指定名勝天然記念物の長瀬岩舟を舟で運

3日目は、県内複数の観光地として知られる川越市の蔵造りの町並みを駆け抜け、その後は本庄市

各日の最終地点では午後8時頃から、聖火に聖火を防ぐため、県が先着順のを灯し、聖火の到着を祝う「事前初制」として、イベント「セレブレーション」が予定されている。1日目は所沢航空記念公園、2日目は熊谷スッポ文化公園で行われ、さいたま新都心公園で行われ予定だった川口市をさいたま市

代替催しを検討 公道中止

当初の発着点となった川口市をさいたま市

に移り、市民活動施設「はなでい住田岡弥弥発明し運ぶ鎌倉時代の歴史書」に「ほんづらざ」敷地内を世に「東京聖火」で走行するな

界最古の自転車とされ、1820「東京聖火」に聖火を引き世に初めて現在の同市に住

最終地点でセレブレーション

代わりなる催しを県と組んで、感状策上安産状態を維持している。同市でできることがあれば実施したい」としている。来週は計34人上る。県の担当者は「入数制限を可能」という。